

を含む氷冷した1 mmol/L 塩酸試液に溶かし、その1 mL中に180 μ g を含むように調製する。用時調製し、氷冷して保存する。

トリプシン試液, エルカトニン試験用 液体クロマトグラフ用トリプシン5 mg に炭酸水素アンモニウム溶液(1 → 100) 20 mL を加えて溶かす。用時製する。

L-トリプトファン $C_{11}H_{12}N_2O_2$ [医薬品各条]

トリフルオロ酢酸 CF_3COOH 無色澄明の液体で、強い刺激性のにおいがあり、水とよく混和する。

沸点 72 ~ 73 °C

比重 d_{20}^{20} : 1.535

トリフルオロ酢酸, 核磁気共鳴スペクトル測定用

CF_3COOH 核磁気共鳴スペクトル測定用に製造したもの。

トリフルオロ酢酸試液 トリフルオロ酢酸1 mL を水に溶かし、1000 mL とする。

トリメチルシリルイミダゾール $C_6H_{12}N_2Si$ 無色~微黄色の澄明な液である。

屈折率 n_D^{20} : 1.4744 ~ 1.4764

3-トリメチルシリルプロパンスルホン酸ナトリウム, 核磁気共鳴スペクトル測定用 $(CH_3)_3SiCH_2CH_2CH_2SO_3Na$ 核磁気共鳴スペクトル測定用に製造したもの。

3-トリメチルシリルプロピオン酸ナトリウム-d₄, 核磁気共鳴スペクトル測定用 $(CH_3)_3SiCD_2CD_2COONa$ 核磁気共鳴スペクトル測定用に製造したもの。

トルイジンブルー $C_{15}H_{16}ClN_3S$ 暗緑色の粉末で、水にやや溶けやすく、エタノール(95)に溶けにくい。

o-トルイル酸 $C_8H_8O_2$ 白色の結晶又は結晶性の粉末である。

融点 102 ~ 105 °C

含量 98.0 % 以上。

トルエン C_8H_8 [K 8680, 特級]

o-トルエンスルホンアミド $C_7H_7NO_2S$ 無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、エタノール(95)にやや溶けやすく、水にやや溶けにくい。

融点 157 ~ 160 °C

純度試験 p-トルエンスルホンアミド 本品の酢酸エチル溶液(1 → 5000)を試料溶液とする。この液10 μ Lにつき、「サッカリンナトリウム」の純度試験(6)の操作条件に従い、ガスクロマトグラフ法により試験を行うとき、本品以外のピークを認めない。ただし、流量はo-トルエンスルホンアミドの保持時間が約10分になるように調整し、検出感度は試料溶液10 μ L から得たo-トルエンスルホンアミドのピーク高さがフルスケールの約50%になるように調整する。また、ピーク測定範囲は溶媒のピークの後からo-トルエンスルホンアミドの保持時間の約2倍の範囲とする。

水分 0.5 % 以下(4 g, 溶媒には水分測定用メタノール25 mL 及び水分測定用ピリジン5 mL を用いる)。

含量 換算した脱水物に対し、98.5 % 以上。定量法 本品約0.025 g を精密に量り、窒素定量法により試験を行う。

0.005 mol/L 硫酸 1 mL = 1.7122 mg $C_7H_7NO_2S$

p-トルエンスルホンアミド $CH_3C_6H_4SO_2NH_2$ 白色の結晶又

は結晶性の粉末である。融点: 約137 °C

純度試験 類縁物質 本品0.030 g をアセトンに溶かし、正確に200 mL とした液10 μ Lにつき、「トラザミド」の純度試験(3)を準用して、試験を行うとき、 R_f 値約0.6の主スポット以外のスポットを認めない。

トルエンスルホンクロロアミドナトリウム三水和物

$C_7H_7ClNNaO_2S \cdot 3H_2O$ [K 8318, p-トルエンスルホンクロロアミドナトリウム三水和物, 特級]

トルエンスルホンクロロアミドナトリウム試液 トルエンスルホンクロロアミドナトリウム三水和物1 g を水に溶かし、100 mL とする。用時製する。

p-トルエンスルホン酸 p-トルエンスルホン酸一水和物 を見よ。

p-トルエンスルホン酸一水和物 $CH_3C_6H_4SO_3H \cdot H_2O$ [K 8681, 特級]

トルブタミド $C_{12}H_{16}N_2O_2S$ [医薬品各条]

L-トレオニン $C_4H_9NO_3$ [医薬品各条]

トロンピン [医薬品各条, 第二部]

ナトリウム Na (K 8687, 特級)

ナトリウム, 金属 ナトリウム を見よ。

ナトリウムペンタシアノアンミンフェロエート ペンタシアノアミン鉄(II)酸ナトリウム n 水和物 を見よ。

七モリブデン酸六アンモニウム試液 七モリブデン酸六アンモニウム四水和物21.2 g を水に溶かし、200 mL とする(10%)。用時製する。

七モリブデン酸六アンモニウム四水和物

$(NH_4)_6Mo_7O_{24} \cdot 4H_2O$ [K 8905, 特級]

七モリブデン酸六アンモニウム・硫酸試液 七モリブデン酸六アンモニウム四水和物1.0 g を薄めた硫酸(3 → 20)に溶かし、40 mL とする。用時製する。

ナフタレン $C_{10}H_8$ [K 8690: 1976, 特級]

α -ナフチルアミン 1-ナフチルアミン を見よ。

1-ナフチルアミン $C_{10}H_7NH_2$ [K 8692, 特級] 遮光して保存する。

ナフチルエチレンジアミン試液 N-1-ナフチルエチレンジアミン二塩酸塩0.1 g を水に溶かし、100 mL とする。用時製する。

N-1-ナフチルエチレンジアミン二塩酸塩

$C_{10}H_7NHCH_2CH_2NH_2 \cdot 2HCl$ [K 8197, 特級]

α -ナフトール 1-ナフトール を見よ。

β -ナフトール 2-ナフトール を見よ。

1-ナフトール $C_{10}H_7OH$ [K 8698, 特級] 遮光して保存する。

2-ナフトール $C_{10}H_7OH$ [K 8699, 特級] 遮光して保存する。

α -ナフトール試液 1-ナフトール試液 を見よ。

β -ナフトール試液 2-ナフトール試液 を見よ。

1-ナフトール試液 水酸化ナトリウム6 g 及び無水炭酸ナトリウム16 g を水に溶かし、100 mL とする。この液に1-ナフトール1 g を溶かす。用時製する。

2-ナフトール試液 2-ナフトール1 g を炭酸ナトリウム試液に溶かし、100 mL とする。用時製する。

α -ナフトールベンゼイン p-ナフトールベンゼイン を見よ。

p-ナフトールベンゼイン $C_{20}H_{20}O_2$ [K 8693, 特級]

α -ナフトールベンゼイン試液 p-ナフトールベンゼイン試液

を見よ。

p-ナフトールベンゼイン試液 p-ナフトールベンゼイン 0.2 g を酢酸 (100) に溶かし, 100 mL とする。

純度試験 溶状 本品 0.1 g をエタノール (95) 100 mL に溶かすとき, 液は赤色で澄明である。

鋭敏度 本品のエタノール (95) 溶液 (1 → 1000) 0.2 mL に新たに煮沸して冷却した水 100 mL を加え, 0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液 0.1 mL を加えるとき, 緑色を呈し, 更に 0.1 mol/L 塩酸 0.2 mL を加えるとき, 液は黄赤色に変わる。

ナフトキノンスルホン酸カリウム 1,2-ナフトキノン-4-スルホン酸カリウム を見よ。

1,2-ナフトキノン-4-スルホン酸カリウム $C_{10}H_6O_2SO_3K$ [K 8696, 特級]

ナフトキノンスルホン酸カリウム試液 1,2-ナフトキノン-4-スルホン酸カリウム試液 を見よ。

1,2-ナフトキノン-4-スルホン酸カリウム試液 1,2-ナフトキノン-4-スルホン酸カリウム 0.5 g を水に溶かし, 100 mL とする。用時製する。

β -ナフトキノンスルホン酸ナトリウム $C_{10}H_6NaO_2S$ 黄色～だいたい黄色の結晶又は結晶性の粉末で, 水にやや溶けやすく, エタノール (95) にほとんど溶けない。

乾燥減量 2.0 % 以下 (1 g, 減圧, 50 °C)。

強熱残分 26.5 ~ 28.0 % (乾燥後, 1 g)。

ナフトキノンスルホン酸ナトリウム試液 β -ナフトキノンスルホン酸ナトリウム 0.25 g をメタノールに溶かし, 100 mL とする。

ナリジクス酸 $C_{12}H_{12}N_2O_3$ [医薬品各条, 「ナリジクス酸」]

ナリンギン, 薄層クロマトグラフ用 $C_{27}H_{32}N_{14} \cdot 2H_2O$ 白色～淡黄色の結晶性の粉末である。エタノール (95) 又はアセトンに溶けやすく, 水に溶けにくい。融点: 約 170 °C (分解)。

旋光度 $[\alpha]_D^{25}$: -87 ~ -93° (0.1 g, エタノール (95), 10 mL, 100 mm)。

純度試験 類縁物質 本品 10 mg をエタノール (95) 10 mL に溶かした液 10 μ L につき, 「トウヒ」の確認試験を準用し, 試験を行うとき, R_f 値約 0.4 の主スポット以外にスポットを認めない。

二亜硫酸ナトリウム $Na_2S_2O_5$ [K 8501, 1 級]

二亜硫酸ナトリウム試液 二亜硫酸ナトリウム 0.10 g を 1 mol/L 塩酸試液 10 mL に溶かし, アセトンを加えて 100 mL とする。

肉エキス 新鮮なウシ, ウマ又はその他の肉から浸出した液を濃縮した黄褐色～濃暗褐色のペースト状の塊で, 肉様においがある。

肉製ペプトン ペプトン, 肉製 を見よ。

二クロム酸カリウム $K_2Cr_2O_7$ [K 8517, 特級]

二クロム酸カリウム (標準試薬) $K_2Cr_2O_7$ [K 8005, 容量分析用標準物質]

二クロム酸カリウム試液 二クロム酸カリウム 7.5 g を水に溶かし, 100 mL とする。

二クロム酸カリウム・硫酸試液 二クロム酸カリウム 0.5 g を薄めた硫酸 (1 → 5) に溶かし, 100 mL とする。

β -ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド (β -NAD)

$C_{21}H_{27}N_7O_{14}P_2$ [K9802, β -NAD⁺]

含量 94.5 % 以上。定量法 本品約 0.025 g を精密に量り, 水に溶かし, 正確に 25 mL とする。この液 0.2 mL を正確に量り, pH 7.0 の 0.1 mol/L リン酸塩緩衝液を加えて正確に 10 mL とし, 試料溶液とする。試料溶液及び pH 7.0 の 0.1 mol/L リン酸塩緩衝液につき, 水を対照とし, 紫外可視吸光度測定法により試験を行い, 波長 260 nm における吸光度 A_T 及び A_B を測定する。

β -ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド

($C_{21}H_{27}N_7O_{14}P_2$) の量 (mg)

$$= \frac{0.6634 \times 10}{17.6 \times 0.20} \times (A_T - A_B) \times 25$$

β -ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド (β -NAD) 試液

β -ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド 40 mg を水 10 mL に溶かす。用時製する。

ニコチン酸アミド $C_6H_6N_2O$ [医薬品各条]

ニコモール, 定量用 $C_{34}H_{32}N_4O_9$ [医薬品各条, 「ニコモール」ただし, 乾燥したものを定量するとき, ニコモール ($C_{34}H_{32}N_4O_9$) 99.0 % 以上を含むもの]

二酸化イオウ SO_2 亜硫酸水素ナトリウムの濃溶液に硫酸を滴加して製する。無色の気体で, 特異なおいがある。

二酸化セレン SeO_2 [K 8706, 特級]

二酸化炭素 CO_2 [医薬品各条]

二酸化チタン 酸化チタン (IV) を見よ。

二酸化チタン試液 酸化チタン (IV) 試液 を見よ。

二酸化鉛 酸化鉛 (IV) を見よ。

二酸化マンガン MnO_2 [K 8705: 1978, 1 級]

ニシュウ酸三水素カリウム二水和物, pH 測定用 $KH_3(C_2O_4)_2 \cdot 2H_2O$ [K 8474, ニシュウ酸三水素カリウム二水和物, pH 測定用]

ニッケル, 熱分析用 [K 9062, ニッケル, 特級。ただし, 純度 99.99 % 以上のもの]

2,2',2''-ニトリロトリエタノール $(CH_2CH_2OH)_3N$ [K 8663, 特級]

2,2',2''-ニトリロトリエタノール緩衝液, pH 7.8 2,2',2''-ニトリロトリエタノール 149.2 g を水約 4500 mL に溶かし, 4 mol/L 塩酸を加えて pH を 7.8 に調整した後, 水を加えて 5000 mL とする。

4-ニトロアニリン $O_2NC_6H_4NH_2$ [K 8708, p-ニトロアニリン, 特級]

p-ニトロアニリン 4-ニトロアニリン を見よ。

4-ニトロアニリン・亜硝酸ナトリウム試液 4-ニトロアニリン 0.3 g を, 10 mol/L 塩酸試液 100 mL に溶かした液 90 mL に, 亜硝酸ナトリウム溶液 (1 → 20) 10 mL を加え, よく混和する。用時製する。

p-ニトロアニリン・亜硝酸ナトリウム試液 4-ニトロアニリン・亜硝酸ナトリウム試液 を見よ。

4-ニトロ塩化ベンジル $O_2NC_6H_4CH_2Cl$ うすい黄色の結晶又は結晶性の粉末で, エタノール (95) にやや溶けやすい。

融点 71 ~ 73 °C

含量 98.0 % 以上。定量法 本品約 0.5 g を精密に量り, 硝酸銀 4 g を水 10 mL に溶かした液にエタノール (95) を加えて 100 mL とした液 15 mL を加え, 還流冷却器を付けて水浴上で 1 時間加熱する。冷後, ガラスろ過器

で沈殿をろ取し、水で洗い、105°Cで恒量になるまで乾燥し、質量を量り、塩化銀 (AgCl: 143.32) の量とする。

$$\begin{aligned} & 4\text{-ニトロ塩化ベンジル (C}_7\text{H}_5\text{ClNO}_2\text{) の量 (mg)} \\ & = \text{塩化銀 (AgCl) の量 (mg)} \times 1.1972 \end{aligned}$$

p-ニトロ塩化ベンジル 4-ニトロ塩化ベンジル を見よ。

4-ニトロ塩化ベンゾイル O₂NC₆H₄COCl 淡黄色の結晶である。

融点 70 ~ 74°C

含量 98.0% 以上。定量法 本品約 0.5 g を精密に量り、過量の硝酸銀・エタノール試液を加え、還流冷却器を付け、1 時間煮沸する。冷後、沈殿をろ過し、水洗した後、105°C で恒量になるまで乾燥し、その質量を量り、1.107 を乗じて、4-ニトロ塩化ベンゾイル (C₇H₄ClNO₂) の量とする。

p-ニトロ塩化ベンゾイル 4-ニトロ塩化ベンゾイル を見よ。

α -ニトロソ- β -ナフトール 1-ニトロソ-2-ナフトール を見よ。

1-ニトロソ-2-ナフトール C₁₀H₇NO₂ [K 8713, 特級]

α -ニトロソ- β -ナフトール試液 1-ニトロソ-2-ナフトール試液 を見よ。

1-ニトロソ-2-ナフトール試液 1-ニトロソ-2-ナフトール 0.06 g を酢酸 (100) 80 mL に溶かし、水を加えて 100 mL とする。

1-ニトロソ-2-ナフトール-3,6-ジスルホン酸二ナトリウム C₁₀H₅NNa₂O₃S₂ [K 8714, 特級]

2-ニトロフェニル- β -D-ガラクトピラノシド C₁₂H₁₅NO₆。白色の結晶性の粉末で、においはない。水にやや溶けにくく、エタノール (95) に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

融点 193 ~ 194°C

純度試験 溶状 本品 0.1 g を水 10 mL に溶かすとき、液は無色澄明である。

乾燥減量 0.1% 以下 (0.5 g, 105°C, 2 時間)。

含量 98.0% 以上。定量法 本品を乾燥し、その約 0.05 g を精密に量り、水に溶かし、正確に 100 mL とし、この液 20 mL を正確に量り、水を加えて正確に 50 mL とする。この液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 262 nm における吸光度 *A* を測定する。

$$\begin{aligned} & 2\text{-ニトロフェニル-}\beta\text{-D-ガラクトピラノシドの量 (mg)} \\ & = \frac{A}{133} \times 25000 \end{aligned}$$

α -ニトロフェニル- β -D-ガラクトピラノシド 2-ニトロフェニル- β -D-ガラクトピラノシド を見よ。

α -ニトロフェノール C₆H₅NO₂ [K 8719, 特級]

ニトロプルシドナトリウム ペンタシアノニトロシル鉄 (III) 酸ナトリウム二水和物 を見よ。

ニトロプルシドナトリウム試液 ペンタシアノニトロシル鉄 (III) 酸ナトリウム試液 を見よ。

4-(4-ニトロベンジル)ピリジン C₁₂H₁₀N₂O₂ 微黄色の結晶性の粉末で、アセトンに溶けやすく、エタノール (95) にやや溶けやすい。

融点 69 ~ 71°C

2-ニトロベンズアルデヒド O₂NC₆H₄CHO 微黄色の結晶又は結晶性の粉末である。

融点 42 ~ 44°C

o-ニトロベンズアルデヒド 2-ニトロベンズアルデヒド を見よ。

ニトロベンゼン C₆H₅NO₂ [K 8723, 特級]

4-ニトロベンゼンジアゾニウム塩酸塩試液 4-ニトロアニリン 1.1 g を塩酸 1.5 mL に溶かし、水 1.5 mL を加え、氷冷しながら亜硝酸ナトリウム 0.5 g を水 5 mL に溶かした液を加える。用時製する。

4-ニトロベンゼンジアゾニウム塩酸塩試液、噴霧用 4-ニトロアニリン 0.4 g を 1 mol/L 塩酸試液 60 mL に溶かし、氷冷しながら亜硝酸ナトリウム試液をヨウ化カリウムデンプン紙が青色を呈するまで加える。用時製する。

p-ニトロベンゼンジアゾニウム塩酸塩試液 4-ニトロベンゼンジアゾニウム塩酸塩試液 を見よ。

p-ニトロベンゼンジアゾニウム塩酸塩試液、噴霧用 4-ニトロベンゼンジアゾニウム塩酸塩試液、噴霧用 を見よ。

4-ニトロベンゼンジアゾニウムフルオロボレート

O₂NC₆H₄N₂BF₄。淡黄白色の粉末で、においはほとんどない。希塩酸に溶けやすく、水に溶けにくく、エタノール (95) 又はクロロホルムに極めて溶けにくい。

融点: 約 148°C (分解)。

確認試験 本品の水溶液 (1 → 1000) 10 mL にフェノール溶液 (1 → 1000) 1 mL 及び水酸化ナトリウム試液 1 mL を加えるとき、液は赤色を呈する。

乾燥減量 1.0% 以下 (1 g, シリカゲル, 2 時間)。

p-ニトロベンゼンジアゾニウムフルオロボレート 4-ニトロベンゼンジアゾニウムフルオロボレート を見よ。

ニトロメタン CH₃NO₂ [K 9523, 特級]

2 倍濃厚乳糖ブイヨン 乳糖ブイヨン, 2 倍濃厚 を見よ。

ニフェジピン C₁₇H₁₈N₂O₆ [医薬品各条]

乳酸 CH₃CH(OH)COOH [K 8726, 特級]

乳酸試液 乳酸 12.0 g を水に溶かし、100 mL とする。

乳製カゼイン カゼイン (乳製) を見よ。

乳糖 乳糖一水和物 を見よ。

乳糖一水和物 C₁₂H₂₂O₁₁ · H₂O [医薬品各条, 「乳糖」]

乳糖基質試液 糖質 6.0 g を pH 4.5 のリン酸水素二ナトリウム・クエン酸緩衝液に溶かし、100 mL とする。

乳糖基質試液, ベニシリウム由来 β -ガラクトンダーゼ用 乳糖 6.0 g を、あらかじめ水で 10 倍に希釈した pH 4.5 のリン酸水素二ナトリウム・クエン酸緩衝液に溶かし、100 mL とする。

α -乳糖・ β -乳糖混合物 (1:1) 乳糖一水和物及び無水乳糖の 3:5 の混合物を用いる。

乳糖ブイヨン 普通ブイヨンに乳糖一水和物を 0.5% の割合に加えた後、培地 1000 mL に対し、プロモチモールブルー・水酸化ナトリウム試液約 12 mL を加える。次に発酵管に約 10 mL ずつ分注し、蒸気がまを用いて 100°C で 15 ~ 30 分間、1 日 1 回、3 日間、間けつ滅菌するか、又は 121°C で 20 分間以上にわたらないように高圧蒸気滅菌を行い、速やかに冷水に浸して冷却する。

乳糖ブイヨン, 2 倍濃厚 水 1000 mL の代わりに 500 mL を用いて製した普通ブイヨンに乳糖一水和物を 1.0% の割

合に加え、以下乳糖ブイオンの製法に従って製する。

乳糖ブイオン、3倍濃厚 水 1000 mL の代わりに 330 mL を用いて製した普通ブイオンに乳糖一水和物を 1.5 % の割合に加え、以下乳糖ブイオンの製法に従って製する。ただし、発酵管には 25 mL ずつ分注する。

ニュートラルレッド $C_{15}H_{17}N_4Cl$ [K 8729; 1992, 特級]

ニュートラルレッド試液 ニュートラルレッド 0.1 g を酢酸 (100) に溶かし、100 mL とする。

尿素 H_2NCONH_2 [K 8731, 特級]

二硫化炭素 CS_2 [K 8732, 特級] 火気を避け、冷暗所で密栓して保存する。

二硫酸カリウム $K_2S_2O_7$ [K 8783, 特級]

ニンヒドリン $C_6H_6O_4$ [K 8870, 特級]

ニンヒドリン・アスコルビン酸試液 ニンヒドリン・L-アスコルビン酸試液 を見よ。

ニンヒドリン・L-アスコルビン酸試液 ニンヒドリン 0.25 g 及び L-アスコルビン酸 0.01 g を水に溶かし、50 mL とする。用時製する。

ニンヒドリン・塩化スズ (II) 試液 クエン酸一水和物 21.0 g を水に溶かし、200 mL とした液に、水酸化ナトリウム試液を加えて pH 5.6 ± 0.2 に調整した後、水を加えて 500 mL とし、更に塩化スズ (II) 二水和物 1.3 g を加えて溶かす。この液 50 mL にニンヒドリンの 2-メトキシエタノール溶液 (2 → 50) 50 mL を加える。用時製する。

ニンヒドリン・塩化第一スズ試液 ニンヒドリン・塩化スズ (II) 試液 を見よ。

ニンヒドリン・クエン酸・酢酸試液 クエン酸一水和物 70 g を水 500 mL に溶かし、酢酸 (100) 58 mL、水酸化ナトリウム溶液 (21 → 50) 70 mL 及び水を加えて 1000 mL とする。この液 100 mL にニンヒドリン 0.2 g を溶かす。

ニンヒドリン試液 ニンヒドリン 0.2 g を水に溶かし、10 mL とする。用時製する。

0.2 % ニンヒドリン・水飽和 1-ブタノール試液 ニンヒドリン 2 g に水飽和 1-ブタノールを加えて 1000 mL とする。

ニンヒドリン・ブタノール試液 ニンヒドリン 0.3 g を 1-ブタノール 100 mL に溶かし、酢酸 (100) 3 mL を加える。

ニンヒドリン・硫酸試液 ニンヒドリン 0.1 g を硫酸 100 mL に溶かす。用時製する。

熱分析用 α -アルミナ α -アルミナ、熱分析用 を見よ。

熱分析用インジウム インジウム、熱分析用 を見よ。

熱分析用スズ スズ、熱分析用 を見よ。

熱分析用ニッケル ニッケル、熱分析用 を見よ。

濃クロモトローブ酸試液 クロモトローブ酸試液、濃 を見よ。

濃クロモトローブ酸試液 クロモトローブ酸試液、濃 を見よ。

濃厚乳糖ブイオン、2倍 乳糖ブイオン、2倍濃厚 を見よ。

濃厚乳糖ブイオン、3倍 乳糖ブイオン、3倍濃厚 を見よ。

濃ジアゾベンゼンスルホン酸試液 ジアゾベンゼンスルホン酸試液、濃 を見よ。

濃ヨウ化カリウム試液 ヨウ化カリウム試液、濃 を見よ。

ノニル酸ワニルアミド $C_{17}H_{27}NO_2$ 。白色の結晶性の粉末で、わずかに特異なおいがある。

純度試験 類縁物質 本品 0.01 g をメタノール 50 mL に溶かし、試料溶液とする。この液 1 mL を正確に量り、メタノールを加えて正確に 20 mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液 20 μ L につき、「トウガラシ」の成分含量測定法を準用し、液体クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液のノニル酸ワニルアミド以外のピークの合計面積は標準溶液のノニル酸ワニルアミドのピーク面積より大きくない。

バイカリン、薄層クロマトグラフ用 $C_{21}H_{18}O_{11} \cdot H_2O$ 淡黄色の粉末で、においはない。メタノールに極めて溶けにくく、水又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。
融点：約 206 °C (分解)。

純度試験 類縁物質 本品 1.0 mg をとり、メタノール 1 mL を正確に加えて溶かした液 10 μ L につき、「オウゴン」の確認試験 (2) を準用し、試験を行うとき、 R_f 値約 0.4 の主スポット以外のスポットを認めない。

ハイドロサルファイトナトリウム 亜ジチオン酸ナトリウム を見よ。

薄層クロマトグラフ用アミグダリン アミグダリン、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用 2-アミノ-5-クロルベンゾフェノン 2-アミノ-5-クロルベンゾフェノン、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用アルブチン アルブチン、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用イミダゾール イミダゾール、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用塩化スキサメトニウム 塩化スキサメトニウム、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用塩化ベルベリン 塩化ベルベリン、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用塩酸イソプロメタジン 塩酸イソプロメタジン、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用塩酸 1,1-ジフェニル-4-ピペリジノ-1-ブテン 塩酸 1,1-ジフェニル-4-ピペリジノ-1-ブテン、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用カプサイシン カプサイシン、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用[6]-ギングロール [6]-ギングロール、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用ギンセノシド Rg_1 ギンセノシド Rg_1 、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用グリチルリチン酸 グリチルリチン酸、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用 (2-クロロフェニル)-ジフェニルメタノール (2-クロロフェニル)-ジフェニルメタノール、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用ゲニポシド ゲニポシド、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用ケノデオキシコール酸 ケノデオキシコール酸、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用ゲンチオピクロシド ゲンチオピクロシド、薄層クロマトグラフ用 を見よ。

薄層クロマトグラフ用サイコサポニン a サイコサポニン a、